

地域では

職場では

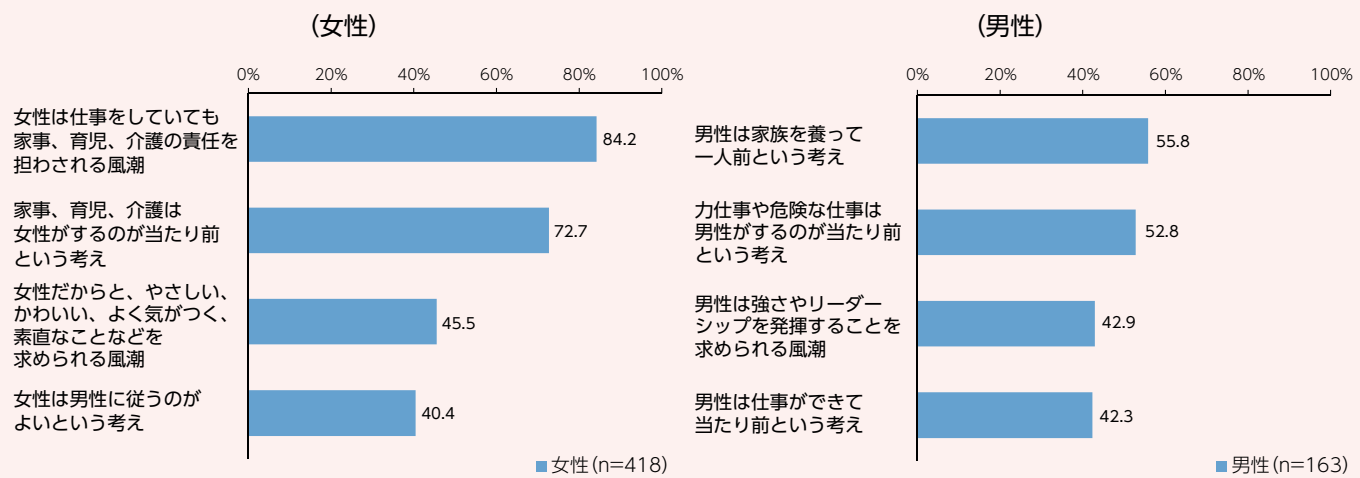
安全で安心できる地域づくりのために、地域防災や福祉活動など様々な活動にみんなが協力しています。

誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域の生活と両立ができています。

「女性であること」または「男性であること」によって負担感や生きづらさを感じたことがありますか？

女性では家事・育児・介護等の負担が大きいこと、男性では家族を養うことや仕事ができ当たり前という、いわゆる固定的な性別役割分担意識によって生きづらさを感じている人が多いことがわかります。

性別によって負担感や生きづらさを感じたとき



※女性男性それぞれ回答割合の上位4項目

宇治市男女共同参画支援センター

JR宇治駅前市民交流プラザ(ゆめりあ うじ) 3・4階に設置している「宇治市男女共同参画支援センター」において、この計画に定める施策を市役所内各課の取組とあわせて推進するとともに、当センターを男女共同参画のための市民活動・市民交流の拠点として一層の活用を図ります。

施設概要

活動スペース

個人やグループが自由に利用できるスペースです。グループ相互の情報交流に使える情報交流BOXがあります。(情報交流BOXの利用には、男女共同参画支援センターの関係団体としての登録が必要です。)



情報ライブラリー

男女共同参画社会に関する図書をはじめ、地域のグループが発行する資料などの情報を収集し、貸出(提供)しています。



印刷室

コピー機・印刷機が利用できます。(有料)

会議室

学習・セミナー・会議などの会場として使用できます。(有料)

キッズスペース

親子で絵本を楽しめるスペースです。同じフロアに、げんきひろば(就学前のお子さんが、保護者同伴で遊べるスペース)もあります。



相談窓口

女性のための相談	女性相談員がお聴きします。一般相談、フェミニスト・カウンセリング、法律相談、ここからからだの相談があります。
男性のための電話相談	男性の悩みを男性相談員がお聴きします。
ここからチャレンジ相談	起業、地域活動等にチャレンジする女性の実践に役立つアドバイスをします。

所在地 〒611-0021 宇治市宇治里尻5-9
 電話 0774-39-9377 FAX 0774-39-9378
 Eメール danjokyoudou@city.uji.kyoto.jp



宇治市男女共同参画計画 第5次UJIあさぎりプラン 概要版

発行日：2021年(令和3年)3月
 発行：宇治市
 編集：宇治市人権環境部男女共同参画課

宇治市男女共同参画計画 第5次UJIあさぎりプラン

概要版

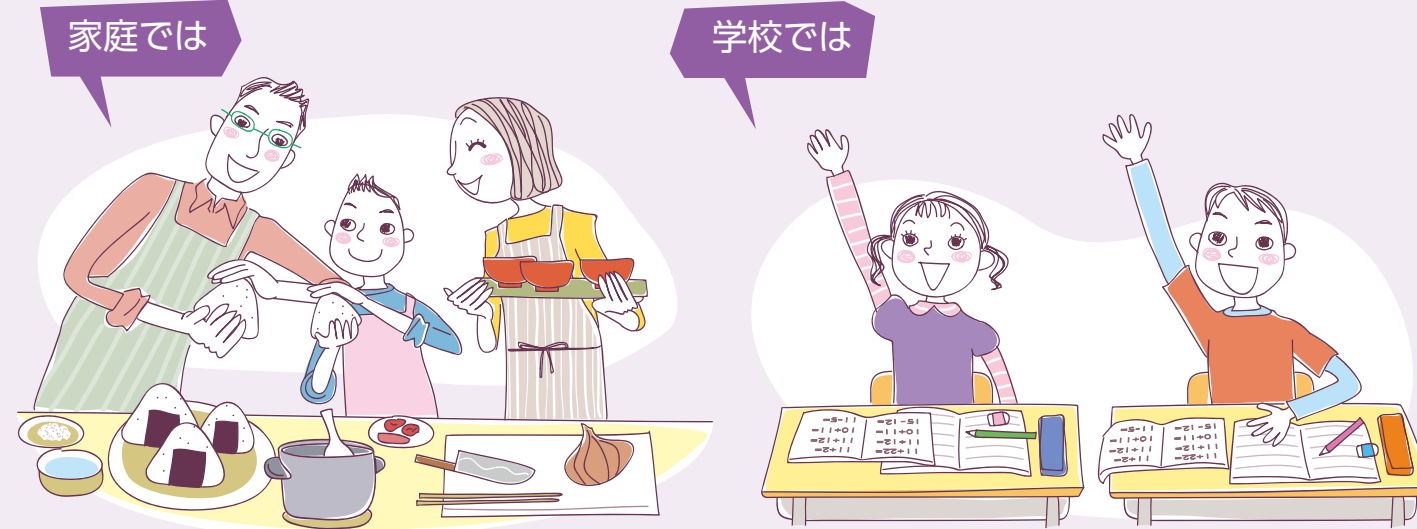
2021年度
(令和3年度)

2025年度
(令和7年度)

2021年(令和3年)3月
宇治市

男女共同参画社会とは？

男女共同参画社会とは、社会のあらゆる場面で、だれもが一人ひとりの希望と意欲に応じて多様な選択が可能となり、心豊かな人生を送ることができる社会です。



家族みんなで家庭内の役割を担っています。家事や子育て、介護等と一緒にすることで家族のコミュニケーションと信頼感を築いています。

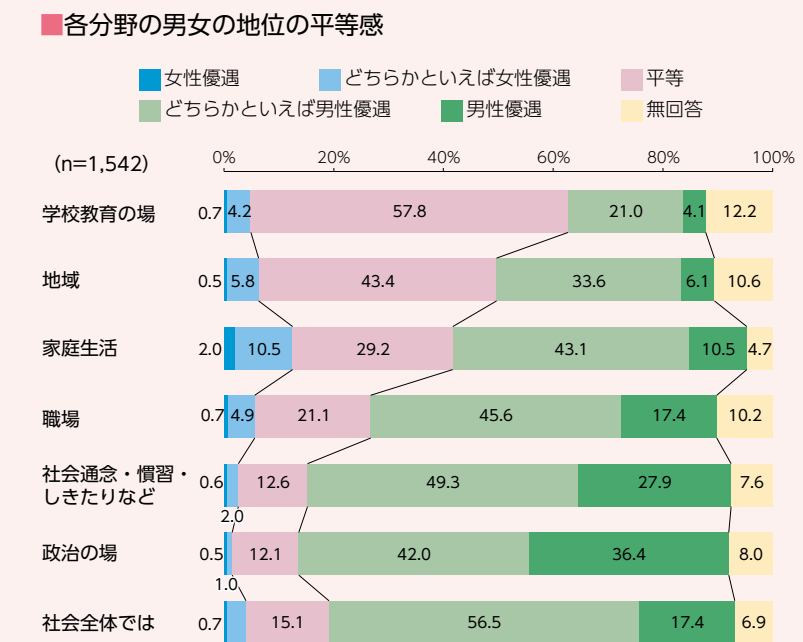
お互いの人権尊重と男女平等意識を育み、すべての子どもたちが将来に夢を描いて、可能性にチャレンジできるような教育が行われています。

宇治市の男女共同参画の現状は？

宇治市が実施した市民へのアンケート調査から、市民の男女共同参画に関する意識をみてみましょう。

男女の地位は平等になっていると思いますか？

学校教育の場と地域については、半数前後の人が男女平等になっていると回答していますが、その他の分野では男性が優遇されていると思う人の割合が高く、特に政治の場、社会通念・慣習・しきたりなどでは8割近くになっています。結果的に社会全体で見ると、男性が優遇されていると思う人が7割を超えています。



(資料：宇治市「市民意識・実態調査」令和2年)

プラン推進の重点課題

固定的な性別イメージの解消

「男らしさ」「女らしさ」といった性別にかかわる無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）は生きづらさにもつながります。固定的な性別イメージ解消のため、子どもの頃からの取組が重要です。

女性の活躍推進とエンパワーメント支援

女性の能力が社会のあらゆる分野で活かされることが重要です。女性がこれまで以上に活躍できるように、チャレンジ支援やポジティブ・アクションに取り組む必要があります。

家事・育児・介護等の場における男女共同参画のさらなる推進

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に対する関心が高まっています。男性が家事や育児、介護に関わることができるような取組が必要です。

女性に対する暴力の根絶と相談支援体制の強化

社会の中での男女の格差や男性優位の意識が、女性に対する暴力に影響しています。誰もが被害者にも加害者にもならないための教育と啓発、そして相談支援体制の強化に取り組む必要があります。

地域防災における男女共同参画の推進

災害時、避難所では、特定の人が我慢をするようなことのないよう配慮が必要です。男女共同参画の視点で地域防災の取組を行うことは、よりよいコミュニティづくりにもつながります。

男女共同参画キーワード

DV・デートDV

Domestic Violence（ドメスティック・バイオレンス）の略で、夫婦や恋人など親密な関係にある男女間で起こる暴力のことをいいます。暴力の種類は以下のように分けることができます。
 「身体的暴力」なぐる、ける、物を投げつけるなど「精神的暴力」相手の人格を傷つけるようなことを言う、相手を無視するなど「性的暴力」無理やりセックスをする、避妊に協力しないなど「経済的暴力」生活費を渡さない、自立を妨げ就職させないなど「社会的暴力」外出を細かくチェックする、携帯電話を勝手に見る、友人との付き合いを制限するなど。デートDVとは恋人間の暴力のことをいいます。

ジェンダー

「社会的・文化的に形成された性別」を意味する言葉です。生物学的性別（セックス）に対して、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」のような男女の別を示す概念で、国際的にも使われています。ジェンダーが性別による固定的役割分担、偏見等につながってきたことをしっかりと認識することが必要です。

無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）

誰もが潜在的に持っている思い込みのことです。育つ環境、所属する集団の中で知らず知らずのうちに脳にきざみこまれ既成概念、固定観念となっていきます。

固定的性別役割分担意識

男女を問わず個人の能力によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず「男は仕事、女は家庭」、「男性は主要な業務、女性は補助的業務」などのように、男性、女性という性別を理由にして、役割を固定的に分ける考え方をいいます。

エンパワーメント

一人ひとりが自分自身を尊重し、自己決定力や仕事の能力、経済力をつけ意思決定の場に参画するなど、あらゆる場面で社会を変革する力をつけていくことをいいます。先住民運動や、女性運動、市民運動等で用いられ、実践されるようになった概念です。

計画の体系

重点課題

固定的な性別イメージの解消

女性の活躍推進とエンパワーメント支援

家事・育児・介護等の場における男女共同参画のさらなる推進

女性に対する暴力の根絶と相談支援体制の強化

地域防災における男女共同参画の推進

基本方向

基本方向1
多様な選択を可能にする男女共同参画意識の浸透

基本方向2
あらゆる分野における女性の活躍の推進

基本方向3
ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現

基本方向4
安全・安心な暮らしの実現

基本方向5
協働による男女生き生きまちづくりの推進

計画課題

- (1) 男女の人権の確立とジェンダー平等の浸透
- (2) 幼少期からの多様な選択を可能にする教育の推進
- (3) 生涯学習等を通じた男女平等意識の醸成

- (4) 職業生活における男女共同参画の推進
- (5) 政策・方針決定過程への女性の参画拡大
- (6) 女性のチャレンジ支援

- (7) 男性にとっての男女共同参画の推進
- (8) 仕事と育児・介護等との両立支援

- (9) 女性に対するあらゆる暴力の根絶
- (10) 配偶者等に対する暴力の根絶
- (11) 困難な状況を抱えた女性等への支援と多様性を尊重する社会づくり
- (12) 生涯を通じた男女の健康支援

- (13) 地域防災における男女共同参画の推進
- (14) 市民等との協働の推進

推進施策

- ① 固定的な性別イメージの解消に向けた意識啓発
- ② 人権及び男女共同参画に関する相談の充実
- ③ メディア・リテラシー向上のための教育の推進
- ④ 男女平等・男女共同参画教育・学習の推進
- ⑤ 教育関係者等に対する人権・男女共同参画研修の充実
- ⑥ 男女共同参画の視点に立った生涯学習の推進
- ⑦ 市民の生涯学習活動の支援

- ⑧ 男女が共に働きやすい職場環境づくりの促進
- ⑨ 職業分野における女性の活躍推進
- ⑩ 女性の就業や経営参画の支援
- ⑪ 本市審議会等への女性委員の登用推進
- ⑫ 企業・地域団体等の役職における女性登用の促進
- ⑬ 市職員における女性登用の推進
- ⑭ 女性のチャレンジを可能にする環境整備
- ⑮ 女性活躍に向けたネットワークづくりの支援

- ⑯ 男性の家事・育児・介護等の参画促進に向けた学習機会の提供
- ⑰ 男性のための相談の充実
- ⑱ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた意識啓発
- ⑲ 仕事と育児の両立を可能にする環境整備
- ⑳ 仕事と介護の両立を可能にする環境整備
- ㉑ 職場における両立支援の促進

- ㉒ 性に基づくあらゆる暴力を許さない社会意識の浸透
- ㉓ 女性に対するハラスメント防止の強化
- ㉔ 相談体制と被害者支援の充実
- ㉕ 関係機関等との連携強化
- ㉖ 生活上の困難に直面した女性等への支援
- ㉗ 高齢者、障害者、外国人、性的少数者等が安心して暮らせる地域社会づくり
- ㉘ リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する普及・啓発
- ㉙ 発達段階に応じた性教育・健康教育の推進
- ㉚ 生涯の各時期に応じた心身の健康対策の推進

- ㉛ 男女共同参画の視点を取り入れた地域防災活動の推進
- ㉜ 男女共同参画の視点に立った災害時の対応の推進
- ㉝ 男女共同参画のまちづくりに向けた市民活動の促進
- ㉞ 市民等との連携・協働事業の推進

宇治市女性活躍推進計画

宇治市DV対策基本計画

計画の推進にかかる目標値・指標値

■計画の推進にかかる目標値・指標値

項目	現状値	目標値・指標値
	(2020・R 2)	(2025・R 7)
基本方向1 多様な選択を可能にする男女共同参画意識の浸透	「男女共同参画社会」という言葉の認識度	71.8% 80%
	「ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）」という言葉の認識度	67.3% 80%
	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対する割合	52.7% 60%
基本方向2 あらゆる分野における女性の活躍の推進	ハラスメントに対する対策を講じている事業所の割合（就業規則等での明示及び相談窓口の設置）	15.4% 30%
	本市審議会等における女性委員の登用割合	28.6% 40%
	女性委員がいない本市審議会等（女性委員がいない本市審議会等の数 / 本市審議会等の数）	11/94 0
	本市管理監督者への女性職員の登用割合	22.1% 25%
基本方向3 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認識度	60.5% 70%
	育児を支援する対策を講じている事業所の割合	57.8% 70%
	介護を支援する対策を講じている事業所の割合	46.0% 60%
基本方向4 安全・安心な暮らしの実現	本市男性職員の育児休業取得率（取得者数 / 対象者数）	11.1% 30%
	男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ）女性のための相談窓口の認知度	18.4% 30%
基本方向5 協働による男女生き生きまちづくりの推進	「デートDV」という言葉の認識度	27.4% 40%
	地域活動へ参加したことがある人の割合	70.3% 80%